

1年 SG 講座 professional

日亜化学工業 海外勤務経験者による講演



平成28年12月15日(木)、日亜化学工業株式会社の松田 伸也先生と三橋 沙織 先生の2名をお招きして、第1学年全員を対象に海外勤務経験についてご講話いただきました。

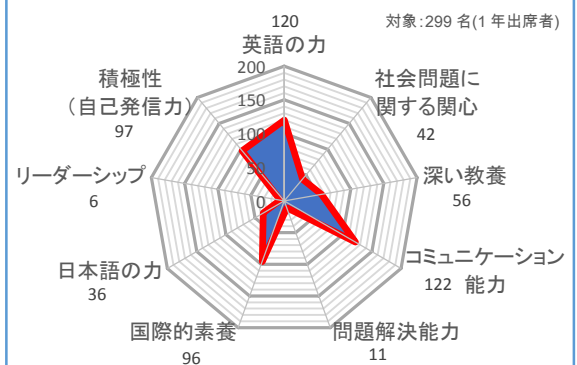
<三橋先生のお話>

三橋先生は、海外留学と海外赴任の両方を経験されたということで、それぞれを比較してお話くださり、海外留学と海外赴任のそれぞれの魅力を知ることができました。また、女性の社会進出や海外赴任への想いを語ってくださり、どのような立場やバックグラウンドでも、道は拓けるものだと言えられました。

<松田先生のお話>

松田先生は、ご自身の海外勤務経験をエピソードや写真を交えておもしろくご紹介くださいました。「アメリカ人より英語ができるわけがないので、何か語学以外に強みを持っている必要がある。」というお言葉には、はっと気づかされるものがありました。また、英語で話すとき、ついつい完璧な英文を作らなければと思って、頭の中で英作文してしまいがちですが、それではスピーディに会話できず逆に会話に支障をきたすと聞いて、もっと気軽に英語を話してもいいのだな、と安心した生徒も多かったようです。

今回の講座を終えて、あなたが特に必要だと感じたものを2つ選んでください。(回答数)



2年 SG 講座 academic

大阪大学法学部国際公共政策学科で講義とゼミを体験



平成28年12月19日(月)、第2学年の希望者21名が、本校がかねてより連携を行っている大阪大学法学部国際公共政策学科を訪問し、講義やゼミに参加させていただきました。

講義見学	「難民問題から世界を見る」	村上 正直 先生
	「現代紛争論」	松野 明久 先生
ゼミ見学	「セミナーⅡⅢⅣb」	赤井 伸郎 先生
		内記 香子 先生

今回、城東生たちは4時間目に講義見学、5時間目にゼミ見学をさせていただきました。

講義は、難民問題や紛争など、生徒たちの関心の高いピックで、世界史で学習した内容とリンクする部分もあり、90分があっという間に感じたようでした。また、ゼミでは、大学生の論文の発表やディスカッションの高度な内容に驚き、それぞれが数年後自分がこのレベルに追いつけるようにするには今何をすべきか考える機会となりました。



1年

SG 講座 academic

あわ（OUR）教育発表会に参加しました

12月26日(月), 徳島県立総合教育センターで行われた徳島県教育委員会が主催するあわ(OUR)教育発表会に、生徒11名が参加しました。あわ教育発表会は県内の特色ある教育を行っている学校が教育関係者や保護者に各学校の取組を発表する場です。

本校はSGH指定校としての取組を紹介するとともに、インドネシア研修の報告と、課題研究の発表をしました。多くの教育関係者の方に生徒自身の口から取組を発表できたことで、城東高校の教育や生徒の様子を知っていただく良い機会となりました。

1・2年

グローバルリーダー育成メソッド I in school

TOEICを受検しました

※TOEIC Bridge…TOEICよりも易しく、日常的な場面で使う英語を中心とした初～中級学習者向けのテスト
※IP…学校や事業所などで行う団体受験制度

12月19日(月)に第1学年全員がTOEIC Bridge IP, 20日(火)に第2学年全員が TOEIC Listening & Reading IPを受検しました。

SGH 指定校である本校では、TOEIC を特別料金で受検することができます。英検とは違い、合格・不合格ではなく、点数で結果が出るのがこの試験の特徴の一つです。今回の結果を受け、生徒一人ひとりが自分の英語力を客観的に把握し、より英語の学力を伸ばしていく機会になればと思います。また、L&R の点数が 500 点以上(もしくは TOEIC Bridge で 160 点以上)の希望者は2月に Speaking & Writing の試験があります。

予告

2月8日(水) 午後はSGH 課題研究発表会です。

1～2年生全員参加、会場はあわぎんホールです。2年生の10組の代表班が研究発表を行います。また、SGH事業の取組についても、あわせて報告します。

※徒歩で会場まで移動します。移動中の服装やマナー、一般歩行者に迷惑のないように心がけましょう。

※積極的に質問し、1年生は、来年度は自分が課題研究に臨むことを念頭に発表を聞きましょう。

コラム＜よい質問って何だろう？＞

SGH 課題研究発表会が目前となっていますが、日頃の講演や発表会の質疑応答の時間に、勇気を持たず、気になったことを聞けなかったという人は多いのではないのでしょうか。しかし、質疑応答は、質問する側・される側の両方が内容の理解を深めるチャンスです。

ここで、簡単に「質問の仕方」を紹介しますので、ぜひ次回は気軽にチャレンジしてみてください。

＜最低限のマナー＞・最初にクラスと名前を伝える。 ・回答の途中で割り込まない。
・発表者や周囲を不快にさせない言葉遣いや態度で質問する(発表者が友人や知り合いでも)。

＜よい質問をするために＞

右の図を参考に「本質的」で「具体的」な質問を心がけましょう。

↓ほかにも、このような質問ももちろん OK!

・自分の考えに対する意見を求める

(例)「私は××と思うのですが、○○さんはどう思いますか?」

・分からなかったところを確認する

(例)「○○については、××ということでしょうか?」

・原因と結果の関係を聞いてみる

(例)「朝食の糖分だけが、テストの点数向上の原因であるという結果が出たのは、なぜですか?」

